

# 平成 30 年度 決算について

令和元年 6 月 11 日  
本州四国連絡高速道路株式会社

平成 30 年度（第 14 期）決算についてお知らせします。

## 平成 30 年度 決算について

### I 決算概要

1. 平成 30 年度 事業概要
  - ① 高速道路事業
  - ② 関連事業
2. 平成 30 年度 経営状況  
連結決算の概要  
(参考) 個別決算の概要

### II 決算資料

1. 連結決算
  - ① 連結貸借対照表
  - ② 連結損益計算書
  - ③ 連結株主資本等変動計算書
  - ④ 連結注記表
2. 個別決算
  - ① 事業報告
  - ② 貸借対照表
  - ③ 損益計算書
  - ④ 株主資本等変動計算書
  - ⑤ 個別注記表
  - ⑥ 附属明細書

# I 決算概要

## 1. 平成30年度 事業概要

### ① 高速道路事業

- ・本四高速道路をお客様に「安全」「安心」「快適」にご利用いただくため、道路巡回、路面清掃、適切な情報提供などの管理に努めるとともに、舗装補修、長大橋塗替塗装、橋梁耐震補強、大規模修繕等の工事を計画的かつ効率的に実施しました。
- ・当事業年度の通行台数は、平成30年7月豪雨等の影響により一時的に減少しましたが、その後回復し前事業年度比0.9%増の4,334万台と過去最高となりました。その結果、料金収入は前事業年度比0.4%増の654億円となりました。
- ・独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構への道路資産賃借料の支払額は463億円となり、協定額よりも40億円多く支払いました。



舗装補修（西瀬戸自動車道）



耐震補強（瀬戸中央自動車道）



大規模修繕（神戸淡路鳴門自動車道）

### ② 関連事業

- ・「瀬戸内の海と島と橋が生み出す『非日常空間』」をコンセプトに、S A・P Aのリニューアル及びサービスの改善等を実施しました。また、各種イベントを積極的に実施し、お客様サービスの向上に取り組みました。
  - 来島海峡S Aの休憩施設をリニューアルオープン（H31.3）
  - 神戸淡路鳴門自動車道全通20周年、瀬戸大橋開通30周年記念セール等のイベントを実施
- ・長大橋の建設・管理技術を活用して、JICA（（独）国際協力機構）、地方公共団体から長大橋技術支援業務等を受託しました。
- ・地方公共団体から高速道路上における跨道橋点検業務等を受託しました。



来島海峡S Aリニューアルオープン



長大橋技術支援（愛媛県受託/岩城橋）

## 2. 平成30年度 経営状況

### 連結決算の概要

(単位：億円)

項目	平成30年度 決算	平成29年度 決算	増減		令和元年度 通期見込み ※1	
			増(△)減	対前年 増減率		
営業収益	高速道路事業	748	749	△ 0.4	△ 0.0%	829
	料金収入	654	651	3	0.4%	606
	道路資産完成高	91	94	△ 3	△ 3.9%	223
	その他の売上高	2	2	0.1	7.0%	—
	関連事業	58	41	16.5	39.4%	63
	休憩所等事業	16	17	△ 0.1	△ 1.0%	17
	受託事業等	41	24	16	67.2%	46
	807	791	16	2.0%	893	
営業費用	高速道路事業	750	747	2	0.3%	829
	道路資産賃借料	463	462	1	0.3%	416
	道路資産完成原価	91	94	△ 3	△ 3.9%	223
	管理費用	195	190	4	2.3%	190
	関連事業	51	35	16	46.9%	57
	休憩所等事業	13	12	0.4	3.3%	14
	受託事業等	38	22	16	71.8%	43
	802	783	18	2.4%	886	
営業利益	高速道路事業	△ 1.6	1.1	△ 2.8	△ 252.6%	0.2
	関連事業	6.6	6.6	△ 0.02	△ 0.3%	6
	4	7	△ 2	△ 36.4%	7	
経常利益	7	10	△ 3	△ 29.7%	8	
当期純利益	4	※2 42	△ 37	△ 88.6%	6	

※1. 令和元年度通期見込みについては、平成31年3月29日付けで国土交通大臣から認可された「平成31事業年度 事業計画」を前提としたものです。実際の業績は計画と異なる場合があります。

※2. 平成29年度当期純利益には、厚生年金基金代行返上に係る特別利益等約35億円が含まれておりません。

(参考) 個別決算の概要

(単位：億円)

項目	平成30年度 決算	平成29年度 決算	増減		令和元年度 通期見込み ※1	
			増(△)減	対前年 増減率		
営業収益	高速道路事業	748	748	△ 0.5	△ 0.0%	829
	料金収入	654	651	3	0.4%	606
	道路資産完成高	91	94	△ 3	△ 3.9%	223
	その他の売上高	2	2	0.04	2.1%	—
	関連事業	39	24	15.3	62.7%	49
	休憩所等事業	4	4	0.03	0.8%	4
	受託事業等	35	20	15	75.7%	45
	787	773	14	1.9%	879	
営業費用	高速道路事業	749	749	0.1	0.0%	829
	道路資産賃借料	463	462	1	0.3%	416
	道路資産完成原価	91	94	△ 3	△ 3.9%	223
	管理費用	194	192	2	1.2%	190
	関連事業	39	24	15	62.7%	49
	休憩所等事業	3	3	△ 0.1	△ 2.3%	4
	受託事業等	35	20	15	75.1%	45
	788	773	15	1.9%	878	
営業利益	高速道路事業	△ 1.5	△ 0.8	△ 0.7	—	0.2
	関連事業	0.6	0.4	0.2	63.1%	0.6
(△は損失)	△ 0.9	△ 0.4	△ 0.4	—	1	
経常利益	2	2	△ 0.8	△ 27.7%	1	
当期純利益	1	※2 37	△ 35	△ 94.7%	0.4	

※1. 令和元年度通期見込みについては、平成31年3月29日付けで国土交通大臣から認可された「平成31事業年度 事業計画」を前提としたものです。実際の業績は計画と異なる場合があります。

※2. 平成29年度当期純利益には、厚生年金基金代行返上に係る特別利益等約35億円が含まれておりません。

## II 決算資料

### 1. 連結決算

- ① 連結貸借対照表
- ② 連結損益計算書
- ③ 連結株主資本等変動計算書
- ④ 連結注記表

### 2. 個別決算

- ① 事業報告
- ② 貸借対照表
- ③ 損益計算書
- ④ 株主資本等変動計算書
- ⑤ 個別注記表
- ⑥ 附属明細書